



TITLE:

現前ノ大戦争ニ就テノ感想

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

CITATION:

米田, 庄太郎. 現前ノ大戦争ニ就テノ感想. 經濟論叢 1916, 3(1): 119-125

ISSUE DATE:

1916-07-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127043>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

經濟論叢

號一第

卷三第

論說

資本ノ概念

資本利子稅設定ノ氣運

支那近代ノ戸口ニ就テ(二)

續正貨蓄積論

戸田博士ノ不換紙幣論ヲ讀ミテ

保險本質論(二)

雜錄

經濟雜誌第四

聯合諸國輸出入禁制ノ我國ニ及ボス影響ニ就テ

對露輸出品代金ノ支拂決濟ニ就キテ

經濟戰爭ト我貿易上ノ利害

現前ノ大戰爭ニ就テノ感想

乳兒死亡率ト出生率トノ關係

ラゲレ一『みる』學說ノ研究(二)

本多利明ノ經濟說ニ關シ本庄學士ノ教ヲ乞フ

米國ニ於ケル移民教育機關

補習教育義務ノ可否

法學博士 河上 肇

法學博士 神戶 正雄

文學博士 內藤虎次郎

法學博士 小川郷太郎

法學博士 福田 德三

法學士 小島昌太郎

法學博士 田島 錦治

法學博士 戸田 海市

法學博士 神戶 正雄

法學士 河田 嗣郎

米田庄太郎

文學士 高田 保馬

商學士 大塚金之助

法學博士 福田 德三

山本美越乃

法學士 財部 靜治

(載 轉 禁)

現前ノ大戰爭ニ就テノ感想

米田庄太郎

本篇ハ有名ナル伊太利ノ經濟學者、社會學者、ミリの大學ノ教

第三卷（第一號 一一九） 一一九

授あきるれ、りあ氏が本年 Scintia ニ於テ發表サレタル一論文 Achille Loria, Riflessioni e previsioni a proposito della guerra, Scintia, I-II, 1916ノ大要ヲ譯セルモノデアル。吾人若シ一八七〇年ノ戦争ノ精神的批評者タリシ、又ハ之レニ精神的ニ參與セシ選良ノ群レフ、現在ノ大戦争ニ思想上參加シ或ハ之ヲ論議シテ居ルト云ハルル人々ノ群レト比較對照シテ見ルト、其ノこんどらすとノ甚大ナルニ驚カザルヲ得ナイ、又其ノこんどらすと程暗示的ナモノハアルマイト思フ。前ノ場合ニ其ノ精神的批評者或ハ參與者ト認メラレシ人々ト云ヘハ、カノぐらとすとん、じよんすちわーとみる、だーういん、すべんさー、ゆーどー、ばすつーる、るなん、てーぬ、びすまーるく、もるとけ、まーるくす、もむせん、まんつゑに、まつちに、がりばるぢー、かすてらー等ノ如キ、既ニ永キ以前ヨリ世界的光榮ト名譽ニ對シテ爭フ可カラザル權利ヲ有セル偉人ノ一族デアツタ。然ルニ之ニ反シテ總テノ嚴肅ナル理性ト判斷ガ全ク消滅セル目前ノ大戦亂ニ於テ、吾人ガ光明ト慰安ヲ求ムル爲メニ信賴シ得ル、又吾人ニ安全ト眞理ノ途ヲ示シ

得ル偉大ナル人格者ハ何處ニアルカ。今日人間思想界ノアラユル分野ヲ充タスモノハ只研究ニ奔忙スル平凡ナル人物ノ大ナル群レニ過ギナイデハナイカ、吾人ハ如何ニ耳ヲ歛テモ彼等ノ口ヨリ偉人ノ聲ヲ聞クコトハ出來ナイ。是レ今日ノ大危機ニ際シテ、吾人ハ抑ヘ難キ熱望ヲ以テ現ハレナイ偉靈ヲ渴仰シツツ只々恐怖シ戰慄シテ居ル所以デアル。

カカル狀態ハ實ニ吾人ノ爲メニ甚ダ不幸デア。而モ亦之レカ爲メニ戰亂ガ齎ラス精神的禍害ニ付テ吾人ハ聊カ心ヲ慰ムルコトガ出來ルトモ考ヘ得ラレル。ト云フノハ現在ノ大戦争ニヨリテ幾百萬ノ生靈ハ消滅シ、而シテ其中ニハ人類ノ爲メニ有用ナル人々モアラウガ、而モ偉人ハ一人モアルマイト思ハレルカラデアル。更ニ一層樂天的ニ考フレバ現前ニ行ハルル大殺戮ニコリテ現代社會ノ腐敗セル空氣ガ一掃セラレ、其跡ニヨク均衡ヲ保ツタ高等ナル精神界ガ出現スルデアラウトモ云ヒ得ラレル。而モ現前ノ大戦亂ガ人類ニ與ノル損害ハ實ニ多大デアラウト

思フ。少シク此點ニ付テ考察シテ見タイ。

先ヅ第一ニ現前ノ大戰爭ハ戰後直チニ國際的^{シムナキモ}共同生活^{シムナキモ}ノ大部分ヲ禁止スル結果ヲ生ズルデアラウコトハ確カデアル。此ノ國際的共同生活ハ實ニ現代社會ノ尤トモ光明アル一特徵ニシテ、又現代社會ノ最大勝利ノ秘訣デアルノデアアル。併シ戰後ハ各國ノ市民ガ從來ノ如ク他國ノ市民ト自由ニ平等ニ交通シテ相互ニ特有ノ思想、傳説、生活方法等ヲ交換シ、以テ相互ニ大ニ啓發セラレ偏局ナル地方的又ハ國民的僻見ノ束縛ヲ脱却スルコトハ出來ナクナルデアラウ。吾人ハ中世紀ノ狀態ニ逆戻シ、再ビ狹隘ナル地平線内ニ封鎖サレルデアラウ。四國協商側ノ國民ト同盟側ノ國民トノ間ニハ人及ビ思想ノ循環ハ假令永久デナクトモ少クモ永ク停止サレ、彼等ノ交通交渉ヨリ生レ出ヅル新シキ精神の產物ハ全ク失ナハルデアラウ。モツトモ兩側ニ立ツ國民同志ノ間ニハ今日ノ軍事的協働ノ結果トシテ從來ヨリモ一層親密ナル交通ガ發達スルデアラウト想像シ得ラレル。併シ佛蘭西、露西亞及ビ英國

ノ市民ハ歐洲ノ他國ニ定住シ、又ハ其處ニ生産の企業ヲ起ス傾向ノ尤トモ少ナキモノデアアルカラ、結局國民間ノ親密ト交通交換ハ大ナル損失ヲ受クルコトナルデアラウ。

次ニ國際商業界ニ於テハ、目下ノ戰爭ニヨリテ從來一ノ純粹ナル抽象的概念ニ過ギナイト見做サレテ居ツタリカゝるどノ國際價值説ガ恢復サレ、且ツ其ノ完全ナル實現ヲ見ルコトナルデアラウ。是レガ爲メニ理論經濟學者ハ喜ブカモ知レナイ。併シ人民ハ涙ヲ流ステウ。ト云フノハ戰後交易界ニ起ル第一ノ結果ノ一トシテ保護關稅ガ大ニ高メラレルデアラウト思ハレルカラデアアル。其徵候ハ既ニ今日カラシテ見ヘテ居ル。モツトモ兩側ノ各々ノ諸國民間ニハ關稅同盟ガ設定セラレ、彼等同志ノ間ニハ從來ヨリモ一層自由ニ交易ガ行ハルルニ至ルデアラウサレド兩側ノ各々ノ範圍内ニ於テ自由交易ノ行ハルルヨリシテ得ラルル利益ガ、兩側ノ間ニ設ケラレル極端ナル關稅制度ヨリ受クル害ヲ償フニ充分デアルヤ否ヤハ甚ダ疑ハシイノデアアル。

併シ吾人ハ此點ニ於ケル國民的損害ヲアマリニ過大視シテハナラス。ト云フノハあだむ、すみオノ論ゼシ如ク一國ノ外國貿易ハ其國ノ商業全體ノ只僅少ナル一部分ヲナスニ過キナイカラデアル。英國ニ於テハ外國貿易ハ漸ク内國商業ノ六分ノ一ニ當リ、又合衆國ニ於テハ商業全體ノ漸ク百分ノ〇、七七ニ當ルグラヒデアル。サレバ戰後ノ關稅制度ニヨリテ諸國民ノ受クル損害ハアマリニ大シタモノデハナイガ、併シ又決シテ輕視ス可キモノデハナイノデアル。

吾人ハ茲ニ目下ノ戰爭ガ商業界ニ齎ラス一ノ有益ナル結果アルコトヲ忘レテハナラス。夫レハ正シク平和ノ成立頃ニ現ハレ來ル可キ商業的恐慌ヨリ吾人ヲ免レシムルト云フコトデアル。今ヤ戰爭ハ巨額ノ富ヲ吸收シテ居ルガ、之レガ爲メニ週期的商業恐慌ノ根本原因タル資本充血ノ過程 *Processo di Congestione Capitalista* ハ突然中止セラレ、必然的ニ回歸シツツアル恐慌ガ延引スルコトトナルデアラウ。第二十世紀ノ初メニ起ル可キ筈ノ恐慌ガ千九百七年マデ延引シ

タノハ是レツマリ南阿戰爭ニヨリテ巨額ノ資本ガ破壊サレタカラデアル。サレバ目下ノ戰爭ニヨリテモヤハリ恐慌ノ回歸ガ多年間延引サレルデアラウ。是レ目下ノ戰爭ガ商業界ニ齎ラス一ノ利益デアル。併シ其ノ加フル無數ノ多大ナル損害ニ比スレバ實ニ憐レナル利益デアル。

更ニ目下ノ戰爭ガ工業界ニ及ボス影響ヲ考察シテ見ルト、吾人ハ重大ナル結果ヲ想像セザルヲ得ナイノデアル。目下兵器、火藥、其他ノ軍需品ノ製造ニ當レル諸工業ハ大ニ利益ヲ收メテ居ル。併シ他ノ諸工業ハ資本ノ非常ナル減少ト勞動ノ不足トニヨリテ衰退ヲ極メテ居ル。然ルニ戰爭カ一度終結ヲ告ゲンカ軍需品工業モ亦恐ロシキ悲境ニ陷ルデアラウ。此クテ一切ノ工業ハ大ニ沈滞スルコトトナルデアラウ。更ニ資本ノ減少ハ戰後勞動市場ニ重大ナル影響ヲ及ボスト思ハレル。戰後突然戰場ヨリ歸リ來ル無數ノ勞動者ニ對シテ夫レ夫レ職ヲ與フルニ必要ナ資本ハ何處ニアルカ。失業勞動者ノ數ハ非常ナモノデアラウト思ハレル。而シテカカル經濟的狀

態ノ下ニ於テ政府カ戰時ノ財政ヲ整理シ、更ニ軍人兵士ノ恩給金、賞金等ヲ支辨シナクレバナラヌトスレバ、財政ノ困難ハ實ニ非常ナルモノデアラウト思フ。此場合ニ當テ戰時公債及ビ紙幣ヲ償還シ償却スル唯一ノ正直ニシテ有効又斷乎タル方法ハ非常稅ノ手段ニヨリテ所要ノ金額ヲ富豪ニ課スルコトデアルト思ハレル。此方法ハ一國ノ經濟的組織ヲ攪亂シナイコト、苦シキ結果ヲ後ニ殘サナイコト、及ビ只尤トモ富裕ナル納稅者ノミニ負擔セシムルコト等ノ三重ノ利益ヲ有ツテ居ル。併シカカル租稅政策ガ大地主及ビ大資本家ヨリ激烈ナル反對ヲ受ケルコトハ疑ヒナイ。而シテ今日實際上一國ノ政權ヲ握ツテ居ルモノハ彼等デアルカラ此政策ノ到底實行サレ難イコトモ亦疑ヒナイ。而モ此政策ヲ措テ外ニ根本的ニ解決スル方法ハナイト思ハレルカラ、此政策ノ實行サレナイ以上ハ、ヤハリ臨時ノ手段ヲ求ムルヨリ外ニ致方ガナイ。即チ戰時公債モ亦紙幣モ償却セズニ其儘ニ据ヘ置キ、而シテ新稅ヲ起シテ公債ノ利子ノ仕拂ニ當テルコトハ出來ナイ。

トデアル。併シカカル手段ヲ用ユル以上ハ吾人ノ經濟的及ビ財政的組織ガ到底紊亂ヲ免ガルルコトハ出來ナイ。

今ヤ多クノ人々ハ、此戰爭ハ大ニ社會主義ノ信用ヲ失ハシメ、其ノ首領ヤ隨從者カ潛カニ抱イテ居ツタ利己的ナ卑劣ナ意向ヲ明ラカニ暴露セシメ、而シテ其衰退ヲ早メシメタト論ジテ居ル。併シ眞面目ナ思想家ハカカル意見ニ贊成スルコトハ出來ナイ。モツトモ政治的及ビ議會的社會主義ノ信用ヲ失ハシメル爲メニハ必ズシモ此戰爭ヲ要シナイ。余ハ既ニ屢々議會の社會主義ハ眞面目ナモノデナイ、又眞面目ナモノデアリ得ナイコトヲ論ンジタ。是レ社會主義デアルガ爲メデハナクシテ、議會主義デアルガ爲メデアル。而シテ愚見ハ不幸ニモ近來種々ナル事實ニヨリテ明白スギル程明白ニ證明サレテ居ルノデアル。併シ今日程議會の社會主義ガ社會主義ノ本來盡クス可キ高等ナル使命ヲ裏切リシ其ノ本來遂行ス可キ高尚ナル計畫ヲ汚シタコトハナイ。今日ノ議會の社會主義ハ實ニ甚ダシク國民

主義的、他國併呑主義的、帝國主義的トナツテ居ル。併シ社會主義ガカタノ如キモノトナツタコトハ其ノ本來ノ精神ト非常ニ矛盾シ、自己ノ本來ノ運命ニ自カラ大打撃ヲ加ヘルコトニナルノデアル。蓋シ社會主義ハ一切ノ壓制、及ヒ一切ノ弱者ノ正當ナル要求ノ反響デアツテ、何人ヲモ賤メズ、又何人ヲモ壓制シナイト云フ條件ノ下ニ於テノミ存在ノ理由ヲ有スルモノデアラルカラデアル。之レニ反シテ若シ社會主義ガ何等カノ壓制（其壓制タルヤ一國ガ他國ニ加フルモノ、又ハ一人種ガ他人種ニ加フルモノ、又ハ男性カ女性ニ加フルモノ、其ノ何レデアルカヲ問ハズ）ノ防衛者或ハ主張者トナランニハ、其瞬間ヨリ其ガ労働者ニ加ヘラレテ居ル經濟的及ビ資本的壓制ニ反抗スル權利ヲ失ナフノデアル。社會主義者ガ若シ獨逸國民ガ佛國民ニ加フル壓制、或ハ文明國民ガ野蠻國民ニ加フル壓制或ハ基督教徒ガ猶太教徒ニ加フル壓制ヲ承認シ、之ヲ正當ト認メンニハ其瞬間ヨリシテ只資本家ガ労働者ニ加フル壓制ノミガ獨リ不正デアルト主

張ス可キ理由モ全クナクナルノデアル。戦争ハ根本的ニ二ヶノ基本因素ノ生産物デアル。一ハ下ヨリ働クモノ、即チ民衆ノ困窮ニシテ是レ戦争ニ人間の材料ヲ供給スルモノデアル他ハ上ヨリ働クモノ、即チ廣大ナル富ノ剩餘ニシテ、是レ戦争ニ技術的及ビ財政的材料ヲ供給スルモノデアル。而シテ今此等三種ノ畸形的社會的狀態ヲ破壊シテ國民間ノ衝突ヲ其ノ根抵ヨリ芟除スルモノハ只經濟的組織ノ改造アルノミデアル。サレバ社會主義ガ若シ眞面目ニ戦争ヲ防止セントスルナラバ其ノ全力ヲ盡クス可キ唯一ノ任務ハ此ノ改造ヲ圖ルコトニアルノデアアル。然ルニ近來社會主義者ガ、代議士ノ選舉ヤ政治問題ノ論争ニ全力ヲ盡クシテ、其本來ノ使命ヲ忘レタノハ實ニ悲ム可キ墮落ト云ハチバナラス。サレバ社會主義者ガ若シ其惡夢ヨリ覺醒シ、再ド其本來ノ使命ヲ自覺センニハ、今日ハ實ニ彼等ガ人類ノ爲メニ大ニ盡クス可キ好時期デアルノデアル。戦争ノ混亂ガ一度終リテ告ゲ日夜吾人ヲ戰慄セシムル目前ノ及ト血ノ舞臺ニ

一度幕ガ下リ、人々ガ靜カニ此ノ恐シキ殺戮ノ起源ト發達ヲ考察スル暇ヲ得ンニハ、彼等ハ必ズ彼等ノ歴史ノ此ノ耻ヅ可キ頁ヲ新ラタニ讀ミ返シ、夫レヨリ將來ノ爲メニ貴重ナル教訓ト獎勵トヲ引キ出スデアラウ。而シテ其時ニハ考ヘアル人ハ何人デモ現前ノ大殺戮ノ如キ不合理ナ無意義ナ禍害ヲ生ミ出ス今日ノ政治組織、外交、政府、國民間又ハ階級間ノ關係、軍事組織、議會組織等ニハ本來腐敗セル邪惡ナル或物ノ存立スルヲ必ズヤ認識スルデアラウ。又其時ニハ書ク人、考ヘル人、只人類共同ノ利益ノミニ貢獻シタイト願望スル人、此等ノ人々ハ總テ親密ニ相團結シテ眼前ニ見ルガ如キ悲シム可キ方法デ諸國民ヲ荒廢ト死滅トニ導ク恐ロシキ鬼怪ナ器械ヲ破壊スル爲メニ全力ヲ盡クスデアラウ。而シテ總テノ暗黒、兇惡、殘忍ノ勢力ガ全ク破壊サレタル時ニ、吾人ハ久遠ニ照ラス人類救済ノ力ガ美ハシク、嚴肅ニ、惠深ク赫ヤクヲ見ルデアラウ。